

人類働態学会 第18期第3回理事会議事要旨 HP 公開用

日時：2005年5月28日 15:00～18:00

場所：筑波大学大塚キャンパス，教育開発国際協力研究センター東京分室（E157）

出席者：菊池安行，岸田孝弥，熊倉博雄，小木和孝，小島龍平，田中秀幸，中田英雄，早弓 惇，松村秋芳，森 和夫

配付資料

資料1．人類働態学会第18期第1回理事会記録

資料2．人類働態学会第39回大会総会記録

資料3．「道具と身体の相互作用」第1回ミニシンポジウム実施計画（案）

資料4．人類働態学会年間スケジュール（案）

I．議事要旨の確認

第18期第1回理事会議事要旨（資料1）と第18期第2回理事会議事要旨（回覧）を確認した。
第39回大会総会議事要旨（資料2）を確認した。

II．議長および書記の選出

互選により中田氏を議長に，田中氏を書記に選出した。

III．報告事項

1．会員の動向について

4名新規入会．1名退会．5月28日現在で会員数は207名。

2．第40回学会大会の進捗状況について

- ・熊倉大会長から，大会プログラムが確定したとの報告があった（内訳は，一般発表演題20件，フォーラム1件，シンポジウム，特別講演）。近々大会抄録集を発送し，大会ホームページにも抄録を掲載する予定。小島事務局長から，会員メーリングリストを利用してその旨会員へ通知する。
- ・WEB チームから依頼のあった大会ホームページのデータを学会ホームページのサーバーへ移行する件を了承した。
- ・理事会を6月18日（1日目）10:30～12:30に開催する。

3．会報

- ・第81号が刊行された。8月刊行を目標として，第82号の編集作業を行っている。7月末までに原稿を提出して欲しい。
- ・熊倉大会長を通じて，大会一般発表セッションの司会者に「司会のまとめ」の執筆を依頼した。

4．JHE

- ・JHE, Vol. 32(2), 2003 が刊行された。Vol. 32(2), 2003 のPDF版（印刷編集不可ファイル）を学会ホームページに掲載した。
- ・松村氏（JHE サポート）が学会会場において発表者に JHE への投稿を依頼する場合に，その活動がやりやすくなるような配慮を熊倉大会長にお願いした。

5．その他

小木氏から，東南アジア人間工学会（SEAES）第20回大会（5/23～25開催）の報告があった。

- ・各国内で人間工学会が設立されている背景にあって，総会ではSEAESの存続が承認された。
- ・新会長にタイのSudthida Krung Kraiwong氏（National Institute for the Improvement of Working Conditions and Environment, Bangkok）が選出された。
- ・小木氏がThe SEAES Founder Awardを受賞した。
- ・2008年度大会はタイで開催される予定。

IV. 審議事項

1. 会報関係

第 82 号の編集作業を以下のとおり進める。

- ・ 大会シンポジウムの特集記事は、熊倉氏と岡田明氏で協力し、原稿の取りまとめ作業を行う。
- ・ 第 40 回大会優秀発表賞に関する記事(選考理由など)の執筆を、優秀発表賞選考委員長に依頼する。
- ・ 過去の大会分に関しては、優秀発表賞受賞者の氏名と演題を載せるにとどめる。また、優秀発表賞の規定も会報に掲載する。
- ・ ロゴマークの選考に関する記事の執筆を河原氏にお願いする。

2. JHE 関係

1) 編集委員長の後任選出と新編集体制について

中田氏と岡田守彦氏で具体化案を検討し、大会時の理事会において提案する。

2) 大会演題の英文抄録について

- ・ JHE未掲載分の大会英文抄録原稿の所在調査作業を総会までに完了させる。
- ・ 40回大会分の英文抄録は200~400語程度とし、メールによる電子投稿方式で原稿を集める。投稿先は熊倉大会長。原稿が集まり次第、田中氏へ送信。

3) バックナンバー製本化について

見積書(背文字・表紙文字入り3000円/部、9部計28,350円(税込))の価格どおり、製本をナカバヤシ㈱に発注する。在庫切れのVol. 15(2)1986が早弓氏から寄贈され、全冊そろったVol. 1からVol. 31までを製本する。

3. 学会シンポジウム実施計画案について

田中氏より、「くらしの中の共生」シンポジウムシリーズ「道具と身体との相互作用」～ヒトと道具の共生を考える～第1回ミニシンポジウム(代表世話人:中田氏,酒井氏)の実施計画案(資料3)が提案され、骨子を以下のとおり決定した。

- ・ 東日本地方会と合同開催する(名称を2005年度拡大東日本地方会とする)。
- ・ 開催場所:東京農工大学小金井キャンパス。開催日時:12月17日(土)シンポジウム,18日(日)東日本地方会。実行委員会委員長:植竹照雄会員。
- ・ 関連経費を2005年度予算案に計上する(大会運営費:10万円,予備費:シンポジストの招聘にかかわる交通費等)。
- ・ 参加費は1,000円(学生500円)程度とする。
- ・ 参加者数を確保するために、小島事務局長が西日本地方会事務局へ協力を要請する。
- ・ 関連学会へもPRする。
- ・ 東京農工大学との共催の可能性を検討する(市民大学講座なども視野に入れる)。

4. 学会運営年間スケジュール(案)について

田中氏より、学会をスムーズに効率よく運営することを目的として、年間スケジュールの提案があった(資料4)。理事会を年4回(4月,6月,10月,12月)定期開催する基本方針が確認された。また、会報(年2号)とJHE(年2号)を交互に3ヶ月毎に発刊することを目標とし、編集委員会や編集会議を定期的に開催する方針が確認された。

5. 会員連絡先の有効利用について

会報とJHEの投稿依頼支援等の業務を効率よく行うために、現在事務局で管理している学会員のメールアドレス、連絡先電話・FAX番号の電子化ファイルをWEBチームが利用することを承認した。

6. 学生会員に関する規則改正について

第17期第7回理事会(2004年2月14日開催)において提案された学生会員を設ける件に関して、会費3000円(JHEの購読サービスなし)を基本として、小島事務局長が規則改正案の原案を作成することとした。小島原案を理事会メンバーリストにて事前回覧する。学会大会初日の理事会の審議を経て、総会に提案する。

7. 会員勧誘キャンペーンについて

熊倉大会長の協力により、大会会場において会員勧誘を積極的に行う。

- ① 学会紹介パンフレットの作成と配布（WEB チーム一任）：事前に熊倉大会長へ送付し、印刷を依頼する。
- ② 学生会員用入会申込書の作成（小島事務局長一任）：学生会員に関する規則改正案が総会で承認された後、大会会場で入会手続きが行える準備をしておく。
- ③ 宣伝・販売用に会報バックナンバー合本および最近のバックナンバーの見本を学会会場に置く。

8. 2004 年度決算・2005 年度予算案・2005 年度活動計画案について

2004 年度決算・2005 年度予算案・2005 年度活動計画案を至急作成（小島事務局長）し、理事会メンバーリングリストにて事前回覧する。

以上